

# 記念史編集について

本史の編集を囑されたのは昨年4月であつた。然るに本部会は此外、地質調査図表と建設資料便覧の二大出版も課せられており、何れも大きな仕事で非常に面倒、且つ手数のかかるものばかりであつたので、遅々として進捗せず今日に至つたのである。此間地質図表は20年前出版のものを改訂追補し、昨年中は専ら原稿の作成に没頭本春漸く出版を見た。本史は昨年度を準備期間とし、本年1月より本格的に着手、10年前即ち創立25年記念事業で調査取纏められた資料を基本として、それを再調補足すると共に、其後の10年間の調査と資料の整理に当つた併し、本会は創立以来殆どビル住いで然も転々する事前後7回、一定の倉庫を有しない上、年々増積する書類の保管に悩まされ、移転の度毎に整理処分されたものもあり特に戦時中書類の疎開や戦後朝日ビル事務室の縮少と之に伴う分室設置など、繁雑混乱に際し処分されたり、又散逸したのもあつた。斯様な次第で書類の整備に一貫性がなく、此度の資料集収には少なからぬ困難が伴い非常な苦心と労力が費やされたのである。

幸にも「建築と社会」が創刊号から保存されていたので、誌中の記事を只一つの頼りとして之を中心に諸事業や経路を辿り連絡調整する外、永年勤続の大和常務理事の記憶をも参考に種々の面から検討集積した結果、本夏に至り一応の資料を纏めたが、之は相当大部のものであつた。然るに本会並に記念事業の予算に一定限度があり遺憾乍らこの資料全部を採録する事が不可能となつたので、止むなく短縮に着手、前後四回に亘つて稿を新にし最後に25項目と12委員会、3幹事に別ち約200頁に圧縮し漸く稿を終えた。

これがため、歴代会長、副会長等、役員の名影、歴年評議員、委員、幹事氏名、物故先賢各位氏名等写真、事務所並に雑誌表紙の変遷や記録の一部を割愛した外、雑誌索引を出来る限り簡略し、なお、各会活動内容其の他動向は極力要点のみを記し、一応35年間先輩各位の努力と其の足跡が偲ばれ得、会歴の全貌を知る程度に止めた事は読者諸賢の御諒承を願いたい。斯様な経過の下に一応の取まとめをしたもので検討十分ならず従て記載内容も不備にして正確を期し難い点も多く、充分の意を尽し得なかつたが、之を完備するには尙年余の日子と多くの経費を必要とするので、吾々は許された範囲内に於て最善の微力を尽し10年前残された先輩の遺志を継承不充分乍ら其の責を果す事とした。

終りに他の編集事項と共に献身的努力をされた部会委員並に実行に当られた分科委員各位並びに大和常務理事に感謝の意を表する。

創立35年記念事業出版部会長  
尾崎久助

## 目 次

巻頭言	6
記念史編集について	7
35周年記念座談会	8
第1回・懐旧談	8
第2回・回顧と将来を語る	12
第3回・協会の過去と将来	17
創立35年記念事業概記	22
沿 革	25
定 款	26
事務所変遷	31
総 会	31
評 議 員 会	34
理事会・常務会	39
役員及び職員	51
会 員 動 勢	55
財 政 状 況	56
寄付金受領調	61
建議・陳情・意見書	65
「建築と社会」変遷	71
委 員 会	72
幹 事 会	86
講 演 会	90
講 習 会	93
座 談 会	95
博 覧 会	98
展 覧 会	99
創立15年記念事業	101
創立25年記念事業	104
新体制と時局対策委員会	105
学会・協会合併問題	107
懸賞及び賞金調	109
出版図書調	110
会員海外渡航者調	111
索 引	112
索 引 目 次	113
第1部門(歴史・意匠・計画・設計)	
第2部門(各種建築)	
第3部門(材料・構造・施工・設備)	
第4部門(法規・都計・災害・座談・特輯)	
第5部門(雑)	